

今市小だより

令和時代に心(こころ)磨きを
学校のテーマ伝えよう 今小プライドを
児童 247名・職員 31名



「チーム今小」：隆盛期

第10号 令和3年1月21日
発行者 日光市立今市小学校
校長 石川 僚一

新年明けましておめでとうございます。今年も今市小学校の御支援を宜しく申し上げます。
令和3年の幕開け、第3学期始業式では、新しい年の始まりにふさわしく凛とした中にも明るい笑顔の子供たち。「元気」「笑顔」「団結」「貢献」を合い言葉に今年1年間、チーム今小として頑張っていきたいというお話をさせて頂きました。初日から凡事徹底の素晴らしさも見られ、5分前にはしっかりと整列ができていました。誰もが体験したことのない困難な時代ではありますが、「今小 もっと前へ」「Imasho Go ahead!」を引き続き継承しながら、心磨きをしてよりよき自分になれるよう児童も職員も頑張っていきたいと思えます。真剣に話を聞く子どもたちの眼差しに今年1年間も充実・発展する年になるだろうと感じました。保護者の皆様、地域の皆様、厳しい社会ではありますが「みんなで団結」して頂き今年もどうぞ本校をよろしくお願い申し上げます。

1 学校教育目標 一人一人の個性や能力を尊重し、知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな創造力に富んだ児童の育成

☆ 日光市に生まれたことを誇りに思える児童の育成 ☆

○よく考え学ぶ子(知) ○明るく思いやりのある子(徳) ○進んで体をきたえる子(体)



目指す学校像

「子どもの夢や希望を実現する学校」

目指す児童像

あたり前のことをあたり前に出来る児童

目指す教師像

情熱と信頼を兼ね備えた学び続ける教師

今年のテーマ

今小 もっと 前へ Imasho Go ahead! (R3年も継続します)



1. 12/18(金) 邦楽スクールコンサート

箏演奏家の和久文子様、前川智世様、尺八演奏家の福田智久山様をお迎えし、邦楽スクールコンサートを行いました。本校では毎年、5・6年生がこの体験を行っています。5年生は箏や尺八の楽器の歴史についてお話を聞き、和楽器体験をしました。箏の体験では、爪の着け方や着座の仕方、奏法など初めてのことばかりで、5年生は目を輝かせながら音を奏でていました。

6年生は2回目ということで、昨年体験したことを思い出しながら挑戦しました。さすが2年目、すぐにいい音が出ていました。やはり生演奏は、音の迫力が違います。弦の響きや尺八の繊細な息づかいを間近で感じる事ができました。この邦楽スクールコンサートは、日光市が本市の小中学校で行っている事業ですが、このような体験を毎年させて頂けることは児童にとって大変幸せなことです。この体験により、和楽器への関心を高め、将来の生活につながることを願っています。三人の先生方、御指導と素晴らしい演奏をありがとうございました。



2. 体育集会の様子 ～最近の学校生活の様子～



12/23(水)・1/20(水)の広場の時間に体育集会がありました。体育集会では縦割りの二宮班で長なわ跳びを行っています。1年生は初めてで、なかなか回している縄に入ることができず、ためらう姿が多く見られました。でも、上級生にうまくリズム



を教えてもらいタイミングを取りながら練習している光景がなんとも言えない微笑ましさを感じる様子でした。慣れてくるとスムーズに跳べる子が多くなっていました。みんなと一緒に続けて跳ぶことの楽しさを味わわせ、体力向上につなげてほしいと思えます。